

新水道ビジョン(仮称)のイメージ

新水道ビジョン(仮称)のイメージ図



※強靱：しなやかで強いこと。柔軟でねばり強いこと。また、そのさま。

▼ 新水道ビジョンの基本的考え方

水道ビジョン策定から7年以上が経過し、水道を取り巻く状況は変化してきており、東日本大震災を教訓にして、より災害に強く持続可能な水道を実現するため、危機管理のあり方、人口減少に対応するためのアセットマネジメント活用の方法、関係者の役割分担等について検討し、新たなビジョンを策定するものである。

はじめに

基本理念等について

1 新水道ビジョン

- 1-1 新水道ビジョンの目的
- 1-2 都道府県水道ビジョン
- 1-3 事業体水道ビジョン

- ① 国、都道府県、水道事業体の役割
- ② 新水道ビジョン及び現在の水道ビジョンとの関係
- ③ 地域水道ビジョンに求めるもの

2 水道の現状と課題

2-1 安全な水の確保は保証されているか？

- ・水道法に基づく水質管理（水質基準・水質検査）
- ・クリプトスポリジウム対策
- ・給水装置工事事業者の状況
- ・専用水道、飲用井戸、貯水槽水道等
- ・原水及び浄水水質の状況
- ・水道水質管理のための統合的アプローチ
- ・鉛製給水管の対応状況
- ・水道未普及地域・者への対応

2-2 水道サービスの持続性は確保されているか？

- ・水道事業を取り巻く環境
- ・水道事業の財政基盤
- ・技術力の確保
- ・施設整備の水準

2-3 危機管理への対応は徹底されているか？

- ・水道事業における危機管理の体系
- ・東日本大震災を踏まえて
- ・その他の危機管理

- ① 新水道ビジョンの3つの観点（安全、持続、強靱）についての現状と課題等
- ② この2章はあくまでも現状と課題を体系的に整理
- ③ 水道における課題を連想させるメッセージ性を盛り込む観点で

3 将来の事業環境

3-1 水道をとりまく外部環境の変化

- ・社会構造、人口分布を踏まえた人口減少下での水道事業
- ・水需要減による給水量・給水収益の減少
- ・気候変動による影響

3-2 水道における事業環境の変化

- ・施設の老朽化による更新事業の整備水準
- ・職員数の減少・人的資源の低下

- ① 3-1は水道事業の外部、3-2は水道事業の内部の環境変化を整理
- ② 2章の現状と4章の方向性・実現方策を繋ぐ役割として整理

4 今後の水道の方向性とその実現方策

4-1 信頼され続ける水道

4-2 目指すべき方向性とその実現方策

- 1) 安全な水の確保
- 2) 持続性の確保
- 3) 強靱な水道の構築

4-3 横断的な実現方策

- 1) 広域連携
- 2) 官民連携
- 3) 住民との連携
- 4) アセットマネジメント
- 5) 指導監督強化
- 6) 人材育成
- 7) エネルギー対策
- 8) 国際展開

- ① 4-1は信頼され続ける水道としての基本理念について説明
- ② 4-2は目指すべき方向性を示した上で、新水道ビジョンの三つの観点から実現方策について説明
- ③ 4-3は安全、持続、強靱について、横断的に解決する具体的な実現方策を列挙して説明

おわりに